

平成 22 年度地球温暖化対策技術開発等事業(競争的資金)
ヒアリング用概要資料作成要領

- * パワーポイントのフォーマット「【概要資料】地球温暖化対策技術開発等事業.ppt」をダウンロードして、下記の構成にて作成してください。
- * e-Rad にて必要な書類を提出後、概要資料については①～⑤一式(6枚以内)を平成 22 年 2 月 15 日(月) 17 時までに電子データにて提出してください。

<構成>

- ① 概要紙その 1 (事業概要、システム構成、目標、導入シナリオ)【1 枚(別紙参照)】
- ② 概要紙その 2 (技術開発スケジュール及び事業費、実施体制、技術・システムの技術開発の詳細、これまでの成果、成果発表状況、期待される効果)【1 枚(別紙参照)】
- ③ 概要紙その 3 (技術・システムの応用可能性、事業終了後の事業展開)【1 枚(別紙参照)】
- ④ 平成 22 年度の予定【1 枚(別紙参照)】
- ⑤ 参考資料(図表・写真等)【2 枚以内】

<注意事項>

※表紙不要

※参考資料を含めて全部で 6 枚まで(厳守)

※①～⑤については別紙およびフォーマットを参照にして作成してください。

概要紙作成要領

- ・ サンプルの構成（ページ構成、枠取りなど）を崩さないよう願います。
- ・ 文字ポイント数は10ポイント以上（図表中の文字は任意の大きさとする。）
- ・ サンプルを参考に箇条書きや図表を用いて簡潔に整理ください。
- ・ CO₂削減量の試算にあたっては、地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン（URL: http://www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin_g/index.html）などを参考にしてください。

(1) 事業概要

事業内容を簡潔に、かつわかりやすい平易な表現を用いて、200文字以内で記載願います。

(2) システム構成

技術開発を行う装置やシステム全体のシステムフロー図や実証試験を行う全体フレーム図などを記載願います。また、具体的なイメージを表す図などを用いて、本事業における各分野(民生部門省エネ対策技術実用化開発分野、再生可能エネルギー導入技術実用化開発分野など)における位置づけがわかるようなシステム図を記載願います。

→技術開発内容に応じて、導入技術や、エネルギーフロー・マテリアルフローが分かるよう作成願います。

→核となる技術、PRポイントを明確にしてください。

(3) 目標

本事業の”最終”目標について、可能な限り定量的にかつ具体的に記載願います。

→開発等内容に応じて、CO₂削減量、開発規模・仕様、性能(従来品との比較、優位性)、コスト(従来品との比較、差額)、単純回収年(イニシャルコスト差額÷年間ランニングコスト差額)、各要素技術の開発目標、事業規模・スペック、運用コスト・事業収益などについて記載願います。

(4) 導入シナリオ

開発等終了後に想定している導入シナリオとして、事業展開や期待される効果について記載願います。

→事業展開については、導入初期の市場立ち上げ・展開方法、導入拡大期の普及方法が分かるよう記載願います。また、導入初期・導入拡大期のそれぞれの時期の目安(201X~201Y年頃)も記載願います。

→事業終了後の事業展開を図る際のスケジュールについて、各段階において目処となる期間等を記載願います。

(5) スケジュール及び事業費

スケジュール及び各年度の事業費を表形式で記載願います。

→要素技術の開発、実証試験、成果取りまとめなどについて記載願います。

→各年度の事業費は要望額を記載願います。

(6) 実施体制

開発等の実施体制について図示願います。また、分担する主なパートを簡潔に付記願います。

→図示いただく範囲は再委託先までで結構です。

(7) 技術・システムの技術開発の詳細

システム全体や各要素技術／システムごとに技術開発の内容を記載願います。

→内容に応じて、①各要素技術／システムの概要（全体システムのうちの何を担っているのか）、②実用化に向けての課題（ブレークスルーすべきポイント）、③課題をクリアするために行う技術開発の内容（〇年度に〇〇を行って〇〇を達成…）について記載願います。

→要素技術／システムの切り分けにあたっては、(2)のシステムの構成との関係が分かるようお願いいたします。

(8) 現時点での実績

次号の対象設備やシステムの現時点での実績について、(3)の項目との関係が分かるよう記載願います。

(9) 特許取得状況

これまでの実績について、特許取得状況や、プレスリリース、学会等での発表、学術論文及びマスメディアへの露出など、対外的な成果発表の実績を記載してください。

(10) 期待される効果

期待される効果について、中間目標に基づき、具体的な目標年度や目標導入量、シナリオに基づく各年度のCO₂削減量について記載願います（“〇年までに〇セット販売することにより〇〇t-CO₂/年削減”等）。

→**試算方法パターン（下図参照）**、算定根拠も記載願います。

（統計データを使用した場合は、出典を明記してください。）

→**2020年時点**の目標導入量やCO₂削減量についても記載願います。

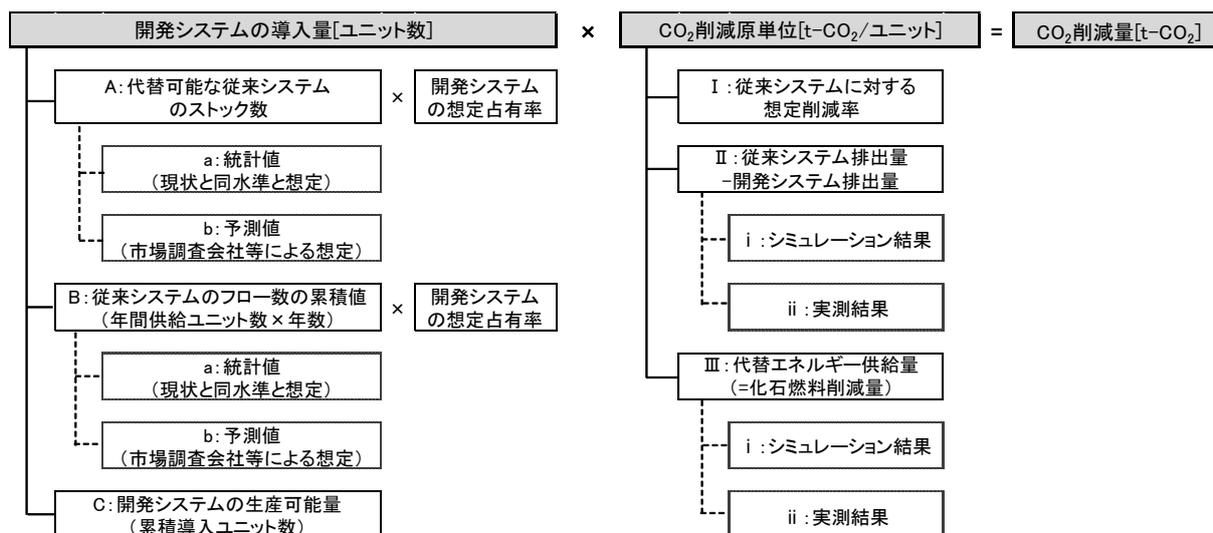


図 CO₂削減量の試算方法の類型パターン

(パワーポイントには「B-a, II-i」のように、試算方法パターンも記載してください。上記類型に当てはまらない場合は、「その他」とし、方法の概要を記載ください。)

(11) 技術・システムの応用可能性

システム全体や各要素技術/システムについて、他の技術・システムへの移転・転用の可能性、他技術・システムとの複合化・融合化の可能性について記載願います。
→(7)の要素技術/システムの切り分けに応じて記載願います。

(12) 事業終了後の事業展開

本事業終了後の事業展開について、(4)の導入シナリオを実現する観点から、①第一約束期間における量産化・販売計画

→生産拠点、販売ネットワーク、企業提携等に関する具体的な計画

②シナリオ実現上の課題

→①のシナリオを実現する上で想定される技術的課題、経済的課題、制度上の問題・障壁等

③導入促進段階での行政との連携の可能性

→モデル事業やキャンペーン事業等、当該技術の導入初期段階における政府や自治体との連携に対する意見・要望等

などについて、具体的に記載願います。